10in | 6out [USB 3.0対応] オーディオインターフェイス

Manual v1.1



audient iD14mkII

Audient ASP8024 Heritage Editionコンソールのマイク・プリアンプ、独立チャンネルの JFET D.I、最高品位のAD/DA コンバーター、 Audient独自のScroll Control、iD ファミリーの『音質基準』をそのままに、バス・パワードで実現。

「すべてのクリエイター、シンガーソングライターが、最初の段階から【リリース・クオリティ】 でどこででも録音を始められる こと。それが iD14 をデザインするに至ったバックグラウンドでした。」 Audient テクニカル・ディレクター Tom Waterman氏

iD14mkllは、音楽やサウンドメーキングに携わるクリエイターが、必要とする全ての機能をコンパクトかつ、エレガ ントにまとめた、完全プロ仕様の 『Creator's Box』です。

同梱物:

- ・ iD14mkll本体
- USB-C to USB-C cable
- Quick Start Guide

ソフトウェア・ダウンロードURL

https://audient.com/products/audio-interfaces/ id14/downloads/

- 日本語マニュアル・ダウンロードURL
- http://allaccess.co.jp/audient/id14mk2/



主な特長:

- 2 × Audient コンソールマイク・プリアンプ
- ・ 高性能AD/DA コンバーター
- ・ 1× JFETインストルメント入力
- 4 × ライン出力
- デュアルヘッドフォン出力
- ・ 拡張用 ADAT 入力
- 超ローレイテンシーのソフトウェアミキサー
- 進化したモニターコントロール
- ・ iDスクロールコントロール
- ファンタム電源
- ・ USB 3.0対応
- ・ フルメタルシャーシ
- Freeソフトウェア&プラグイン

目次

iD14mkIIの概要	4
安全にご使用頂くための注意	6
インストール方法	8
Mac の場合	9
Windows の場合	11
ミキサーアプリとファームウェアアップデート	13
ハードウェアについて	14
マイクプリアンプ&ライン入力	15
楽器入力	16
ヘッドフォン出力	16
デジタル入力	17
スピーカー出力	17
モニターコントロール	18
メーター	19
Kensington ロック	19
iD Mixerアプリケーション	20
入力チャンネル - チャンネルタイプ	21
チャンネル仕様	23
マスターセクション	24
システムパネル	27
トークバックソース	30
ミキサープリセットのセーブ&ローディング	31
メニュー/タスク・バー・アイコン	32
キーボードショートカット	34

DAWの設定	35
Pro Tools の設定	36
Logic Pro の設定	37
Cubase/Nuendo の設定	38
Ableton Live の設定	39
トラブルシューティング & FAQ	40
製品仕様	43
品質保証に関して	44
サイズ	46

iD14 mkllの概要









付属のUSBケーブルから機器に給電する前に、マニュアル中のインストラクションや注 意点をよくお読みください。

本機は高電圧で動作はしませんが、電気ショックや火災が起きないよう安全な使用法 に忠実に従ってください。

故障と思われるような症状が発生しても、本体を開けないでください。 その際はまずaudientのサポート: audient@allaccess.co.jpにコンタクトしてくださ い。

audient@allaccess.co.jp

01 マニュアルをよく読んでください。 02 マニュアルを保管しましょう。 03 『注意や警告』を守りましょう。 04 インストラクションには従ってください。 05 水の近くや湿気の多い場所で使用しないでください。 クリーニングは乾いた布だけ使用してください。 06 ヒーター、ストーブやアンプなど高温を発する場所や機材の上で 07 使用しないでください。 08 本機に接続されているケーブル類にご注意ください。 09 10 近くで雷が発生していたり、長い期間本機を使用しない時は、コンピューター の電源をお切りください。本機とコンピューターとの接続ケーブルも外してく ださい。 水分がかかったり、故障だと思われる時に本機を開けないでください。 11 製品の修理は認可されたサービス機関でのみ修理可能です。

WARNING

感電などの事故が発生しないように、水の近くや湿気の多い場所では本機を使用しないでください。



本機と使用するアクセサリー等は、メーカーが認可したものを使用してください。

その際はまずサポート: audient@allaccess.co.jpにコンタクトしてください。

インストール方法

MacOS の場合

動作環境

OS:Mac OS10.11.6 (El Capitan) 以降 CPU:Intel CPU又はApple Silicon CPU メモリ:1GB RAM 以上

セットアップ

1. 最新のiD Mixerアプリを、以下のリンク からダウンロード。

http://audient.com/products/downloads/iD14 ※ 製品一覧から iD14 を選択しDownloadのタブをクリックします。

ダウンロードしたアプリをフォルダーにインスト ールして下さい。

iD14 mkllに接続
 付属のUSB-CケーブルでiD14mkllをMacのUSB
 ポートに接続してください。



MacOS の場合(続き)

3. 接続の確認

接続が確立されるとホワイトUSBマークのLEDが 点灯します。USB LED が点灯しない場合は接続を 確認してください。



解決できない場合はALL ACCESSサポートまで ご連絡ください。

4. 接続の再確認

iD14mkIIとコンピューターの接続が確立されることを再確認して下さい。

「システム環境設定>サウンド>出力」から 「iD14」をオーディオデバイスに選択して下さい。

同様にお使いになるDAWソフトウェアでも 「iD14」を選択して下さい。DAWに関する設定 は後のセクションをご覧ください。

	Sound		
► Show All		Q	_
	Sound Effects Output	t Input	
Select a device for sound	output:		
Name		Туре	
Internal Speakers Avid CoreAudio Device		Built-in	
Pro Tools Aggregate I/O		Aggregate device	
Audient iD14		USB	
Sottings for the coloring de	WICE.		
Settings for the selected de	ne selected device has no o	output controls	(7

5. iD Mixerを開く iDソフトウェアを起動して、メニューバーで「ミキ サーを開く」を選びます。



Windowsの場合

動作環境

OS:Windows 7 以降 (32 or 64 bit) CPU:Intel Core 2 @ 1.6 GHzまたは同等のAMD CPU メモリ:1 GB RAM 以上

セットアップ

1. 最新のiD Windows Driverを、以下の リンクからダウンロード

http://audient.com/products/downloads/iD14 ※ 製品一覧からWindows driversを選択しDownloadをクリック。

ダウンロードしたアプリをフォルダーにインスト ールして下さい。

iD14 mkllに接続
 付属のUSB-CケーブルでiD14mkllをPCのUSBポートに接続してください。



Windowsの場合(続き)

4. 接続の確認



接続が確立されるとホワイトUSBマークのLEDが点 灯します。USB LED が点灯しない場合は接続を確認 してください。

「iD14」をデフォルトオーディオデバイスに指定し、 「既定値に設定」を選びます。

設定 > コントロールパネル > ハードウェアとサウン ド > サウンド の順に行います。 *Windows 10の場合は設定からシステム>サウンドで 設定できます。

使用するDAW内でも、「iD14」がオーディオデバイス として選ばれていることを確認してください。 このセッティングは、通常オーディオセッティング、又 はプリファレンスメニューで行えます。 異なるDAWの 設定に関しては、後のセクションをご覧ください。 解決できない場合はALL ACCESSサポートまでご連 絡ください。

5. iD Mixerを開く

iDアプリがインストールされると、iDアイコン がWindows システムトレイに現れます。アイコンを 右クリックすると、サンプルレート、バッファーサイズ、 レイテンシーセッティングを変更することができます。



・iD14 Mixerウィンドウをダブルクリックで開きます。 ・右クリックでサンプルレートとバッファーサイズの変更 を行います。

ミキシングにはバッファーサイズを256に設定する と最適でしょう。トラッキングには低いバッファーサ イズを試してみましょう。お使いのコンピューターの 処理能力や、プラグインやバーチャルインストルメン ト、使用チャンネル数によって、適正バッファサイズ は異なります。

ミキサーアプリとファームウェアアップデート

iD Mixerアプリケーションを起動する

iD Mixerアプリケーションは、以下のフォルダーにあ ります。

【Macintoshの場合】 Macintosh HD > アプリケーション > iD 【Windowsの場合】 スタート > すべてのプログラム > Audient > iD

iD Mixerは、iD14mkIIが接続されている時のみ 使用可能です。右クリックするとiD14mkllの終了、 レイテンシーやASIOのバッファー設定を行う事がで きます。



ファームウェア・アップデートの確認

ファームウェアのアップデート方法は、以下の2通り あります。

·メニューの「Fromfile」から、ディスク上に保存さ れた最新ファームウェアのファイルを使用する。 「iD Mixer I ソフトウェア上から更新情報を確認し 直接アップデートする。

ファームウェアのアップデート

「iD Mixer」上で更新情報を確認すると、最新バー ジョンが図のように表示されます。NEXTをクリック するとアップデートが始まります。

• •		
U	PDATE FIRMW	ARE
From audient	.com:	
• From file:		
CANCEL		NEXT

続く画面でUPDATEをクリックし、アップデートが完 了したらウィンドウを閉じてください。

	Update Firmwar	9	
U	PDATE FIRMWA	RE	
	COMPLETE		
CANCEL		ОK	
CANCEL		UK	

ハードウェアについて

マイクプリアンプ&ライン入力

iD14mkllのアナログ入力には、フラッグシップ・コン ソール直系のマイク・プリアンプを採用しました。ディ スクリートクラスA回路を採用し、低ノイズで極めて 歪みの少ないサウンドを生み出します。その音質は スピード感に溢れ、オープンで正確なディティールを 再現できることが特長です。

入力端子にはマイク/ラインのどちらにも対応できる Amphenol[™]製のXLR/TRS コンボ・ジャックを採用 しました。ライン信号もパッドされて(信号レベルを 下げて)マイク・プリアンプ回路を経由します。

15



[マイクプリアンプの仕様]

- ・ 56dB のクリーン・ゲイン
- ・8V (±4V) ファンタム電源 (チャンネル毎/10mA)
- ・ > 2.8k Ω 入力インピーダンス

マイクの種類に関わらず、パンチのある サウンドが得られる インピーダンスに設定 しました。

・ 位相反転スイッチと10dBゲインブースト は iD Mixerアプリケーション上で設定可能 です。



楽器入力

「D.I」入力端子は、JFET採用のクラスAディスクリート・テザインの楽器用入力です。 このDI入力には、エレキギター、エレアコやシンセサイザーが入力できます。このJFET回路はクラシックな真空管アンプの入力部分をベースにデザインされており、リッチなハーモニクスを含んだサウンドを生み出します。

このTS (アンバランス–チップ、スリーブ) ジャック に接続すると、チャンネル1が楽器入力になります。 この入力はマイク/ライン入力よりも優先され、出力 されます。位相反転スイッチはマイクを併用する時 に、10dBブーストは信号レベルが小さい時に使用 します。

ヘッドフォン出力

前面に設けられたヘッドフォン出力端子は、接続す るヘッドフォンインピーダンスの影響を受けにくい、 ディスクリート高電流型アンプを搭載しています。 標準プラグとステレオミニジャックの両方を備えて おり、同信号を2基のヘッドフォンへ同時駆動する ことが可能です。又、スピーカーとの同時モニタリン グ、アーティストヘッドフォンミックスも可能です。



デジタル入力

iD14mkIIには、オプティカルのデジタル入力が搭載 されており、ADAT(8ch)又はSPDIF(2ch) どちらにで も使用可能です。その切替えは iD Mixerアプリケー ションから行います。



両フォーマットとも最大サンプルレートは96kHzで す。ADAT入力は、Audient ASP800マイクプリなど から44.1/48kHz以上(88.2kHz&96kHz)で使用 する場合は、使用可能なチャンネル数が4チャンネル に限定されます。



スピーカー出力

iD14mkllの背面パネルには、バランスのTRSジャッ クコネクターのステレオスピーカー出力を2つ備えて います。フラッグシップのコンソールであるASP8024 と同等の出力を採用し、高品質なDACから、スピーカ ーにクリーンなサウンドを出力でき、解像度の高い モニタリングが可能です。



iD Mixerを使えば、単にスピーカーからのモニターだ けでなく、複数のミュージシャンへそれぞれ独立した ヘッドフォンからモニタリングさせることも可能です。

モニターコントロール

iD14mkllはAudientの大型コンソールと同等の モニタリング・コントロール機能を備えています。 各モニターの音量は、カスタムアルミ製エンコーダ ーとエンコーダーボタンで操作します。

これにより、ヘッドフォン出力とスピーカー出力の バランスを個別に調整し、マッチングさせることが 可能です。

3つのエンコーダーボタンはエンコーダーのモード 選択用に用意されています。選択されたボタンが 点灯します。



スピーカー&ヘッドフォンボタン

スピーカーボタン(右)、ヘッドフォンボタン(左)を選 択すると、それぞれの出力レベルが調整できます。

エンコーダーを押すとそれぞれの出力がミュートさ れます。ミュート状態の時には、エンコーダーボタン が点滅します。







iDボタンは、iD14mkllの特筆すべき機能の一つ 『ScrollControlモード』のアサインが可能です。 エンコーダーにスクロール・ホイール機能をアサイン して、DAWのオートメーション等、様々な機能への アクセスかを可能にしてくれます。

また、ファンクション (トークバックや位相反転等) の アサインボタンとしても使用できます。 iDボタンにこれ らのファンクションがアサインされている状態では、 エンコーダーは直前に選択された音量をコントロール します。 iDボタンのアサインはiDアプリで行います。

メーター

8段階のLED メーターが搭載されています。この ピークメーターは、iD Mixerアプリのプレイバックレ ベルを表示します。この場合、入力レベルにはDAW のメーターの使用をお勧めします。



ステータス LED

このLEDは、iD14mkIIとコンピューターのUSB経由 の接続状態を表示します。安定した接続時には明る く点灯します。



Kensington ロック

iD14mkllの側面にはケンジントン・ロック取付け用 の穴があります。学校や設備で使用する際の盗難防 止に活用してください。



iD Mixer アプリケーション

入力チャンネル - チャンネルタイプ

チャンネル毎に3タイプの入力が選択できます。

- マイク入力:
 2つのアナログ入力
- デジタル入力: オプティカル入力からの信号。デジタル入力信号 タイプ (SPDIF、ADAT) とサンプルレートにより、 アプリに表示されます。
- Dawリターン:
 DAWからのプレイバック信号です。本機には6つのリターン信号があり、Cueミックスやアウトボードへのセンドに設定できます。



チャンネル仕様

チャンネル名

ダブルクリックで、キック、スネアのように命名でき、 整理もできて便利です。

位相切り替えスイッチ

信号の位相が反転できるスイッチです。 ギターアンプ のリアにマイクを立てたり、スネアの反対面のマイキン グの位相切り替えに使えます。

パンコントロール

メインモニターやCueミックスのL/R設定を行うパン コントロールです。

ステレオグルーピング

隣り合った2つのチャンネルをステレオにグルーピン グして、両チャンネルを1本のフェーダーでコントロー ルします。ステレオグルーピングされると、自動的に 信号はL/Rにパンニングされます。

+10dBブーストスイッチ

このスイッチを押すと、低い録音ソース信号が +10dB上がります。このレベルの変化はDAWへも 影響します。

ソロ

ソロボタンは他のチャンネル信号をミュートします。

ミュート

ミュートボタンはそのチャンネル信号をミュートします。

フェーダー

選択されているミックスへの信号レベルを+6dB~ オフの範囲で調整します。

チャンネルメーター

このメーターは信号レベルをdBFS (フルスケール レベル)で表示します。OdBFSを超えるピーク信号は レッドに表示されます。このピーク表示はクリックし て消すことができます。又、Alt + Clickでもピーク 表示を消すことができます。



ミックスの選択

変更を行うミックスを選びます。すると、そのミックス の追加コントロールが現れます。

Cueミックスの名前

Cueミックスをダブルクリックすると、その名前が表示 され変更が可能になります。例えば、4人のバンドメン バーそれぞれに異なるCueミックスを作るのであ れば、Drummer、Guitarist、Bassist...と命名で きます。

ミックスソロ このソロボタンで各Cueミックスのモニターが可能 です。

ミックスレベル 出力されているCueミックスのレベルがコントロール できます。

ミックスメーター 選択されているミックスの信号レベル表示です。

クロノメーター

クロノメーターは現信号レベルのみでなく、数秒前か らの信号レベル変化を読み取ることができます。 トラックダウンの時のトランジェント信号のモニター や、Cueミックスのレベル変化のモニタリングに有 効です。 チャンネルビュー

これら3つのボタンはチャンネルのタイプを選択し ます。

例:デジタル入力を使用していない時は、OPTコントロールの クリックしてオプティカルチャンネルを隠すことも可能です。

モニターコントロール

本機には、モニターコントロール機能が6種類のボタンに分かれています。各機能については下記をご覧ください。

- TB (トークバック)
 トークバックボタンでトークバックのオン/オフが
 可能です。詳しいセッティングは『システムパ
 ネル』のセクションをご覧ください。
- ・ ø(フェーズスイッチ)

ステレオ信号の片側の位相を反転します。この機 能はモノスイッチと併用して、センター定位の信号 を取り除きたい時に使います。ミックスに埋もれ た信号をモニターするのに便利な機能です。

・モノ

このスイッチをオンにするとステレオ出力が モノラルになります。出力がモノ再生される時の チェックが簡単に行えます。

・ オルタネート

モニターパスを切り替えて、異なるモニターセットで確認する時に用います。どの出力を'ALT' モニターして選択するかは、システムパネル内で 行います。

• DIM

プリセットしたレベルまで出力を即座に下げるこ とができるスイッチです。セッション中にコミュニ ケーションをとる場合に役立つ機能です。

モニター&ヘッドフォンミュート

モニター出力またはヘッドフォン出力をミュートする 機能です。アイコンがミュート状態を表示します。



システムパネル



トークバック ソース



ミークハック デバイス



	:
DIGITAL IN Adat Syddf 1	ROUTING
PREFERRED CLOCK SOURCE	ANALOGUE TALKBACK
	SOURCE INTERNAL INPUT SOURCE ETTERNAL None
ScrollControl	

デジタル入力フォーマット

ADATまたはS/PDIFの使用を選択します。

クロックソース

クロックソースは、内部クロック (本機) またはオプ ティカルが選択できます。 詳しくはクロックセクショ ンをご覧ください。

外部Clock Sourceを使用している時は、セレクターの横の表示はクロックのステータスを表示します。

- レッド クロック信号が認識できていない状態
 です。
- イエロー クロック信号は認識していますが、
 サンプルレートが異なる状態です
- グリーン 正常に動作しており、iD14がクロック
 シンク(同期)している状態です。

外部クロックと同期して正常に動作してほしい場合 は、表示がグリーンであることを確認してください。 グリーン表示されない場合は、本機は同期まで内部 クロックで動作します。

モノモード

このオプションコントロールでモノが選択されると、 全出カヘモノ信号が送られます。

Dimレベル

Dim機能がオンになった時に下げるレベル値を決 定するコントロールです。

Alt スピーカーレベル

Alt スピーカーモードで切り替えた時、レベル設定の アップ/ダウンを決めるコントロールです。接続してい る異なるスピーカーブランド間のバランス調整です。

出力ルーティングセクション

アナログ出力、デジタル出力1、トークバックチャン ネルのルーティングマトリクスを開きます。

iDモード

スクロールコントロール又はモニター機能の一つを 使うかを決定します。

ルーティングマトリクス

オーディオソースをどの出力にルーティングするかを以下のオプションから決めます。

- Main Mix/メインミックス- iD Mixerのマスターミックスから信号を取ります。これはスタンダードなプレイバックの設定です。
- Alt/オルタネート iD Mixerのマスターミックスから 信号を取り、Altスピーカーで再生します。
- Cue A & B iD Mixerで作った異なる2つのCueミッ クスが選べます。ハードウェアのボリュームコントロー ルはこれらのミックスには動作しません。メインミキ サーウィンドーで選ばれたCueミックスのみに動作 します。

ANALOGUE OUTPUTS	TALKBACK				
	MAIN MIX	ALT SPK	CUE A	CUE B	DAW THRU
	- • —				
		- • -			
6- 5+8	- •				

 DAW THRU – DAWに現れた通りの信号が出 カヘルーティングされます。例えば、アナログ アウト1+2がダイレクトにDAW THRUにセッ トされると、DAWは出力1+2をアナログアウト 1+2へ出力します。

DAW THRUでは、ボリュームコントロールは バイパスされ、信号はフルスケールで出力され ます。これが直接モニタースピーカーへ出力さ れると、非常に大きな信号になります。この場 合は、ヘッドフォンのみボリュームコントトー ルが効きます。

トークバックソース

トークバックソースは、iD14のインターナル入力、 又はホストコンピューターに接続されているデバイ ス (内臓マイク又は接続されているUSBマイク)か らの信号です。

インプットをトークバックチャンネルとして選ぶ と、iDMixer内のチャンネルもTBボタンがセンタ ーにあるトークバックチャンネルに変更されます。

外部デバイスを使っている場合は、トークバック 信号はDAW6チャンネルに現れます。フェーダー は、メインミックスではなく、Cueミックスのチャン ネルのみに現れます。

トークバックデバイス

外部デバイスが選ばれると、接続されているデバイ スが使えるようになります。



ミキサープリセットのセーブ& ローディング

iD Mixerの設定は即座に保存できます。セッション中に異なるプリセットのセーブ&ローディングが可能です。

ミキサープリセットは以下の2つの方法でセー ブ&ローディングが可能です。

- ファイルメニューでセーブ or オープンを選び ます。
- キーボードのショートカットを使います セーブ: Mac - Cmd + S、Windows - Ctrl + S ロード: Mac - Cmd+O、Windows - Ctrl + O

プリセットのセーブ

セーブしたいミキサー設定が決まったら、プリセットとしてセーブします。File > Saveで簡単にセ ーブできます。ミキサーウィンドーが表示された ら、プリセットネームを入力しSAVE (セーブ)を 押します。



プリセットファイルは書き出しが可能ですから、 友達にファイルを転送できます。さらに、DAWセ ッションファイル含めれば、後日プロジェクトの 再現が容易に準備できます。Saveスクリーンか らExport Mixer Configurationを選択すれば 完了します。

ミキサーファイルのロード

セーブしたプリセットのロードは、ロードスクリー ンでFile > Openを選択します。



以前に保存したセッティングがリストに現れま す。ロードしたいセッティングをクリックし、ロ ードします。又、ミキサーセッティングをLoad From Fileから直接選ぶこともできます。

メニュー/タスク・バー・アイコン

MacOS

スクリーン右上のメニューバーにiDアイコンが表 示されます。ここからiD14のいろいろな機能に アクセスできます。

			iD	W	0
	Show Mixer				
	About iD				
	Visit iD Knowledge Base				
	Register Product				
•	Check for Updates				
	Set Clock Source	•			
	Quit	Q			

Quit

iD Mixerアプリを終了することができます。

About iD

iD Mixerアプリの現バージョンを表示します。

iDナレッジベース

ヘルプ機能やFAQが用意されたAudient Helpdeskを開くことができます。

Set Clock Source

内部とオプティカル入力へのクロックソースの確認&設定が行えます。

Check for Updates

Audientアップデートサーバーを確認し、ファー ムウェアのアップデートをチェックできます。

Windows

MacOSメニューバーアイコンと同じオプションと Windowsのスペシャルオプションが、Windows のタスクバーにあります。



Set Sample Rate

iD14mkllのサンプルレートが、44.1、48、 88.2、96kHZから選べます。

Set ASIO Buffer Size

バッファーサイズを16~4096サンプルから設定 できます。高い値の設定はコンピューターのプロ セッシング負荷を下げますが、その分レイテン シーが増加します。

ファームウェアのアップデート

バグ修正、機能向上、新機能の追加等を行うファ ームウェアのアップデートを行います。 時々、Check for Updatesでアップデートを確認 してください。

同様にiD Mixerアプリケーションもアップデート サーバーを確認しましょう。新しいリリースがあ ったら、最新版にアップデートすることをお勧め します。

UP	UATE FIRMWARE
From audient.	com:
• From file:	
CANCEL	NEXT

このウィンドウのNEXTをクリックする と、iD14mkIIからのプレイバックが止まりま す。Updateをクリックするとアップデートが始ま ります。アップデート中、本機は何度かオフにな ります。

Keyboard Shortcuts

キーボードショートカット

以下がiDMixerアプリのショートカットテーブルです。

Location	Мас	Windows	Description
Faders	Alt + Click	Alt + Click	フェーダーをユニティーゲインヘリセット (OdB)
Pans	Alt + Click	Alt + Click	パンポットをセンターヘリセット
Solos	Cmd + Click	Ctrl + Click	全てのソロチャンネルをクリア ソロ設定されていないチャンネルをクリックする と、全てのソロが無効になります。
Meters	Alt + Click	Alt + Click	ピークホールド表示をクリア
System Panel	Cmd + S	Ctrl + S	ミキサー設定をセーブ
	Cmd + O	Ctrl + 0	ミキサー設定をロード
View Modes	Cmd + 1	Ctrl + 1	Mic/Line入力を表示
	Cmd + 2	Ctrl + 2	Optical (Digital) 入力を表示
	Cmd + 3	Ctrl + 3	DAWミックス入力を表示
	Cmd + 4	Ctrl + 4	Systemパネルを表示



Pro Tools と使用する場合

Windowsを使用している方は、インストールセ クション (オーディオデバイスとしての設定)の 設定を確認してください。インストールが完了し たら、ProToolsを起動してサンプルレートの設 定を確認してください。外部クロックを使用する 場合、両方のサンプルレートを同一値に設定し ます。

Windows版をご使用の場合は、プロジェクトを 開く前に、必ずiDアイコンよりレイテンシーとバッ ファーサイズの設定を忘れないでください。これ らの設定がProTools起動時に反映されます。

ssion Parameters	
ssion Parameters	
Audio File Type: Sample Rate:	
BWF (.WAV) * 48 kHz	*
Bit Depth: I/O Settings:	
16 Bit Last Used	*
O 24 Bit	
32 Bit Float	

レイバックエンジン

Setup > Playback Engineで、プレイバッ クエンジンの設定に進みます。

5 FI	e Edit V	iew Trac	a Clip	Event	AudioSuite	Options	Setup	Window	Marketplace	Help	
							Hardw	are			
		100				-	Playba	ick Engine	h		
	Mar	9	E- 10-	0	40 Q		Disk A	llocation	•		0412
					(mark loop)	-	Periph	erais			Nutge 🗼
1	2343		0-8			ounor .	VO				
							Video	Sync Offs	et		
		_	-	_	-		Connin			-	-

最新アプリをチェックしてください。告知なしにショートカットが追加される場合があります。 audient.com/products/iD14





1/0セットアップ:セットアップから1/0へ進みま す。上記設定画面で、入力と出力の設定を行いま す。iD14の2入力/2出力が正しくルーティングさ れていることを確認してください。



※その他の設定に関しては、ProToolsの取扱説明書をご参 照ください。



Logic Proと使用する場合

MacにiD14mkllを接続し、Logic Proを立ち 上げます。この際、iD14mkllが入出力デバイ ス (プレイバック用デバイス)に選ばれている ことを確認してください。インストールが完了 したら、下記の設定画面を開いてください。

Logic Pro > Preferences > Audio

×.	Logic Pro X File Edit Track Na	vigate Record Mix View Wind
••	About Logic Pro X	
TE	Preferences	General
i i i i	Control Surfaces	Audio
	Key Commands	MIDI
▼ Re	Download Additional Content Provide Logic Pro Feedback Download Logic Remote Learn About MainStage	Display Score Movie Automation My Info
	Services ►	Advanced Tools
	Hide Logic Pro X %H	Initialize All Except Key Command

iD14mkllがプレイバック用デバイスとしての設定 を確認したら、適切なバッファーサイズを設定しま す。Monitor Mixを入力のモニターに使用している 場合は、バッファーサイズを比較的高く設定するこ とをお勧めします。又、「オーバーロード」 警告や ノイズ、サウンドの歪みなどが発生した場合は、 バッファーサイズを大きく設定してください。

		Preferences		0	<i>ж</i> .
eral Audio Recording MIC	DI Display Score Mov	ie Automation Contro	ol Surfaces	My Info Ad	wanced
Devices	General Editing	I/O Assignments	Audio Fil	e Editor	MP3
Core Audio:	Enabled				
Output Device:	Audient iD14				
Input Device:	Audient iD14				
I/O Buffer Size:	128		🗘 San	nples	
Resulting Latency:	11.1 ms Roundtrip (4.	8 ms Output)			
Resulting Latency: Recording Delay:	11.1 ms Roundtrip (4.	8 ms Output)	·		Samples
Resulting Latency: Recording Delay: Processing Threads:	11.1 ms Roundtrip (4.	8 ms Output)	• • •		Samples
Resulting Latency: Recording Delay: Processing Threads: Process Buffer Range:	11.1 ms Roundtrip (4. Automatic Medium	8 ms Output)			Samples
Resulting Latency: Recording Delay: Processing Threads: Process Buffer Range: Multithreading:	11.1 ms Roundtrip (4. Automatic Medium Playback & Live Tra	8 ms Output)			Samples
Resulting Latency: Recording Delay: Processing Threads: Process Buffer Range: Multithreading: Summing:	11.1 ms Roundtrip (4. Automatic Medium Playback & Live Tra High Precision (64	8 ms Output) acks bit)			Samples

すでに、iD Mixerをレコーディング時の入力モニ ターに使用している場合は、位相シフトによるショ ートディレイが聴こえてないように、Logicのソフ トウェアモニタリングをオフにしてください。

入出力のアサイン

iD14mkIIの全入出力(10x入力、6x出力) は、Logicのルーティングから使用できます。それ らの入出力はI/Oラベル機能で名前を付けること ができます。

1	Input 1 (Lead Voca	ıls)	
	No Input		
-	Input	•	✓ Input 1 (Lead Vocals)
	Bus	•	Input 2 (Backing Vocals Input 3

		Untitled 1		
Reset				
Channel	Provided by Driver	User	Long	Short
Input 1	Analogue 1		Lead Vocals	Vox
Input 2	Analogue 2		Backing Vocals	BV
Input 3	ADAT 1			
Input 4	C ADAT 2	rack Navigat	e Record MX View Wi	ndow 1 Help
Input 5	ADAT 3		Show Automati Create Track A	ion A utomation
Input 6	C ADAT 4		Convert Autom	ation •
 Input 7 	ADAT 5	Edt - P	unctions . Move Track Au	tomation with Regions
Input 8	ADAT 6		Enable Automa Automation Pre	ition Quick Access ^T&A
 Input 9 	ADAT 7	Audio 1	Show Groups	2007
Input 10	ADAT 8		Disable Groups	• •0
Output 1	Analogue 1		VO Labels VO Assignment	tikus
Output 2	Analogue 2		Pre-Fader Mete	ering
			Open Apagee O	Control Panel

オペレーション

ADAT or S/PDIFからの外部クロックに iD14mkll を同期しているのであれば、レコーディングやプ レイバックの信号がシャープしたりフラットしない ように、Logic側を外部機と同じサンプルレート に設定してください。

File > Project Settings > Audio



iD14mkllを内部クロックで動作している際 は、LogicはiD14mkllに従いサンプルレートを更 新します。再同期まで短いポーズがありますが、 それは正常な状態です。

Macintosh HD > アプリケーション > ユーティリティ

Audio Devi	ces			
Audient iD	L4			
Clock source	e: Audient Inter	mal Clock	1	
			•	
	Input	Output		
Source: [Default			
Format:	44100.0 Hz 💌	10ch-24bit I	ntege	r
	T			
Ch Volume	i	Value	dB	Mute
	i,			
	1			
	1		1	1 0
0	1		1	10
	1			
O	-i			
0				
	1			
	1			
	-			
	i.			
	1			
	i i			
	1			
. 😑 💿	L.	Untitled 1 - P	roject S	Settings
A (8)		4 (-		1 988
eneral Synchronizatio	on Metronome Recordin	g Tuning Audio M	IIDI Sci	ore Movi
	V Automatia manage	omont of abanasis	trin ahi	octo
	Automatic manage	ning of channel stri	p objec	ts
	Z Playback pre-roll			
Sample Dates	AA 1 647			
Sample nate:	44.1 KHZ			

※その他の設定に関しては、Appleの取扱説明書等をご参照 ください。

Apply Pan Law Compensation to Stereo Bal



Cubase / Nuendoと使用する場合

Windowsを使用している方は、インストールセク ション (オーディオデバイスとしての設定) の設 定を確認してください。インストールが完了した ら、Cubase or Nuendo を起動してデバイスメニ ューに入ります。

Studio > Studio Setup

Studio	Window	Hub	Help		
Audio	Connectio	าร		F4	roje
MixCo MixCo	nsole nsole in Pr	oject W	/indow	F3 ℃F3	*
VST P Audio Video On-Sc	lug-in Man Performan Player reen Keybo	ager ce pard		F12 F8 ℃K	ect
More	Options			►	
ReWir	e			►	
Studio	Setup				

図のようにデバイスメニューからVSTAudio Systemを選びます。



iD14mkllがオーディオデバイスに選ばれているこ とを確認してください。「Switch」のメッセージを クリックしてください。

	Studio Setup	
н — н	No Driver	
Devices	✓ Audient iD14	ASIO Driver
Chord Pads Chord Pads MIDI MIDI Port Setup Remote Devices Track Quick Controls Transport Record Time Max Video	BlackHole 18ch Built-in Audio IIIput Latency: 3 Output Latency: 8 ASIO-Guard Latency: 23 HW Sample Rate: 44 HW Pull Up/Down: Of	iplication is in Background 16 ms 912 ms 3.220 ms 4.100 kHz ff
Video Player VST Audio System Audient iD14	Advanced Options	Set to Defaults

VSTデバイスセットアップパネルを閉じ、オーデ ィオ接続ペネルへ移ります。

Devices > Audio Connections (F4)

Cubase / Nuendo中に作られた全バスを確認し てください。それら全てのポートはセッションで 使用できます。必要であればそれらをI/Oに割り 当ててください。



iD14mkllのミキサーアプリで入力をモニターして いるのであれば、トラックの入力モニターはオフ になっていることを確認してください。

+ 6	
	Input/Output Channels
-₩ - 1	M S Drums Image: Image of the second seco



Ableton Liveと使用する場合

Windowsを使用している方は、インストールセ クションの設定(オーディオデバイスとしての設 定)を確認してください。インストールが完了した ら、Ableton Liveを起動してデバイスメニューに 入ります。

Live > Preferences > Audio

Ś	Live	File	Edit	Crea	ate	View	Options	Help
• •	Abo	ut Live	•					
TAP	Pref	erence	S	ж,	l Bar	•	••	1. 1.
ഉ	Ser	/ices		►				
CATE S B D V In	Hide Hide Sho	e Live e Other w All	rs ٦	нж нжс	g	A	r1 >A	5
⊕ A 冄 M	Quit	Live	ounar u	жQ			Chord	
<]3 РІ	ug-ins	Þ	Mallets				Stab Synt	h

iD14mkllがオーディオデバイスに選ばれている ことを確認してください。又、適切なサンプルレ ートとバッファーサイズも設定してくたさい。

000	Preferences					
Look Feel	Audio Device					
	Driver Type	CoreAudio				
Audio	Audio Input Device	Audient iD14 (10 In, 4 Out)				
MIDI	Audia Output Douise	No Device				
Sync	Audio Output Device	Audient iD14 (10 In, 4 Out)				
	Channel Configuration	Built-in Microphone (2 In, 0 Out)				
File		Built-in Input (2 In, 0 Out)				
Folder	Sample Rate	Pro Tools Aggregate I/O (4 In, 2 Out)				
Library	In/Out Sample Rate	44100 🔻				
Library	Default SP & Pitch Conversion	High Quality				

Windowsユーザーは、Ableton内で変更する 前に、iD System Trayでバッファーサイズとレ イテンシーを設定します。(iD14mkllは10-in、 4-outデバイスとしてLiveに認識されていること を確認してください。)

iDMixerで入力信号をモニターしている場合 は、コンピューターの負荷を軽減するため に、バッファーサイズは比較的高く設定でき ます。このケースでは、Ableton側のトラッ クの入力モニタリングをオフにします。

	Preference	Ces
Look	Audio Device	
	Driver Type	CoreAudio
Audio	Audio Input Device	ID4 (2 In, 2 Out)
Link	Audio Output Device	iD4 (2 In, 2 Out)
MILI	Channel Configuration	Input Config Output Config
File Folder	Sample Rate	
Library	In/Out Sample Rate	44100 ▼
-	Default SR & Pitch Conversion	High Quality
Warn	Latency	
Launch	Buffer Size	512 Samples
CPU	Input Latency	13.9 ms
Licenses	Output Latency	13.7 ms
Maintenance	Driver Error Compensation	0.00 ms
	Overall Latency	27.5 ms
	Test	
	Test Tone	Off
	Tone Volume	-36 dB
	Tone Frequency	440 Hz
	CPU Usage Simulator	50 %

Input Config				
Choose which audio hardware inputs to mak be used as one stereo in and/or two mono in	se which audio hardware inputs to make available to Live's tracks. Every input pair can eed as one stereo in and/or two mono ins. Deactivating inputs reduces the CPU load.			
1 (mono) & 2 (mono)	1/2 (stereo)			
3 (mono) & 4 (mono)	3/4 (stereo)			
3 (mono) & 4 (mono) 5 (mono) & 6 (mono)	3/4 (stereo) 5/6 (stereo)			
3 (mono) & 4 (mono) 5 (mono) & 6 (mono) 7 (mono) & 8 (mono)	3/4 (stereo) 5/6 (stereo) 7/8 (stereo)			

トラブルシューティング&FAQ

トラブルシューティング

本機に電源が入らない。

USBケーブルが正しく接続されているか確認し てください。お使いのPC/MACのUSB給電仕様 や、USBハブや接続ポートを再確認してみてくだ さい。

DAWの再生時にクリックやポップノイズ が出る。

まず、設定されているバッファーサイズの値が小 さすぎることが考えられます。又、使用している プラグインやソフトシンセ等が多すぎることも考 えられます。レコーディング時は、レイテンシー を少なくするためにバッファーサイズ小さく設定 しがちですが、ミックス時はその必要はありませ ん。

iD14mkllをコンピューターに接続すると、 本機からオーディオが再生できない。

まず、iD14mkIIとコンピューター間のUSBケーブ ル接続を再確認して下さい。さらに、iD14mkII がDAWの再生デバイスに設定されているかの確 認も必要です。 最後に、モニターミックスノブをDAWにセットし ます。

システム環境設定 > サウンド > 出力タブ > Audient iD14 (macOS)

コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド > サウンドデバイスを管理する > Audient iD14 (Windows)

コンピューターとiD14mkllのコミュニケーション のためにiD Mixerアプリを起動します。これは電 源を入れた時に一度だけ行います。ID14mkllが 動作状態になったら、このアプリを終了してくだ さい。

ソフトウェアミキサーの中で、DAWビューボタン を押しDAWチャンネルを見つけ、DAW1+2フェ ーダーでレベルを上げます。

Θ	Sound	
Show All		Q
	Sound Effects Output Input	
Select a device for sound	l output:	
Name	Type	
Internal Speakers	Built-in	
Avid CoreAudio Device		
Pro Tools Aggregate I/O	Aggregate	device
Audient iD14	USB	
т	he selected device has no output contro	ls
		(
	e: 🛋 🦳 🗌 🗌	🕦 🗆 Mute
Output volum	• • • • • • Y	

iD14mkllが外部ADAT又はSPDIFと同期 できない

両機が同期していない時、ステータスLEDはレッド かイエローが点灯します。レッド点灯時は外部デバ イスからのクロックが感知できない場合。イエロ ー点灯時はクロック信号は受けているが、サンプル レートが一致していない場合です。

OSXでサンプルレートを変更する場合は、Audio MIDIセットアップで行います。

Macintosh HD > アプリケーション > ユーティリティ> Audio MIDI 設定

Audient iD14がオーディオデバイスとして認識 されていることを確認してください。

ウィンドウ > オーディオウィンドウを表示



クロックソースを再確認してください。又、 正しいサンプルレートが表示されているかも 確認してください。

Audio D	evices
Audient iD1	4
Clock source	✓ Audient Internal Clock
	Audient S/PDIF Clock
	Audient ADAT Clock
Source: [Default

Windowsを使用されている場合は、システム トレイにあるiDアイコンを右クリックします。 すると、サンプルレート等のセッティングが表 示されます。それらの値はiDアプリのセットア ップでも変更できます。外部のADATデバイス のサンプルレートも変更してください。



トラブルシューティング (続き)

iD Mixerアプリのディフォルト設定に リセットしたい

iD Mixerアプリのリセットは、iDアプリを完全に 終了し、フォルダー内にあるstate.xmlを以下の 手順でデリートします。 再スタートは新しいアプ リをインストールしなおしてください。

Macintosh HD > ライブラリ

> Application Support > Audient > iD
> state.xml

OS(C:)ドライブ > ユーザー > (ユーザー名) > AppData > Roaming > Audient > iD > state.xml

セーブしたiD Mixerプリセットが入ったフォルダ ーは、デリートしないでください。

iDのファームウェア/ソフトウェアの最新 バージョンを入手したい

<u>http://audient.com/products/id14/</u> <u>downloads</u> から最新ドライバーをダウンロー ドしてインストールしてください。

FAQs

FAQについては http://www.allaccess.co.jp/audient/ ページをご覧ください。

製品仕様



D.I /インストルメント入力

ゲインレンジ: 40dB フルスケールレベル:12dBu = 0dBFS THD+N @ 0dBu: 0.1% SNR:100dBu (A-特性負荷) 周波数特性 - 最小ゲイン ±0.5dB 10Hz to 20kHz 1/4"TS ジャック:チップ (ホット)、スリーブ (シールド)

ADコンバーター

THD+N @ -1dBFS:0.001% ダイナミックレンジ:120dB (A-特性負荷) CORR:>80dB 周波数特性:±0.5dB 10Hz to 40kHz

デジタル入力

8-チャンネル ADAT:44.1kHz~48kHz 4-チャンネル ADAT:88.2kHz~96kHz SMUX STEREO S/PDIF / TOSLINK: 44.1kHz to 96.0kHz (Stereo)



フルスケールレベル:18.5dBu = 0dBFS THD+N @ -1dBFS:0.0009% ダイナミックレンジ:125.5dB (A-特性負荷) クロストーク: >116dB 周波数特性: ±0.25dB 10Hz to 40kHz 最大レベル @ 30Ω:2.59V Peak, 1.827V RMS, 223mW 最大レベル @ 62Ω:4.18V Peak, 2.95V RMS, 280mW 最大レベル @ 600Ω:7.72V Peak, 5.46V RMS, 100mW 1/4"TRS ジャック:チップ (L)、リング (R)、スリーブ (シールド)

マイクロフォンプリアンプ

ゲインレンジ: 58dB フルスケールレベル:12dBu = 0dBFS MIC 最大入力レベル:12dBu 最大入力レベル: 21dBu 入力インピーダンス (Mic): 2.8k 入力インピーダンス (Line): >8k THD+N @ 0dBu 0.00170% THD+N @ 0dBu 最大ゲイン <0.04% SNR:101dBu (A-特性負荷) EIN:129dB (A-特性負荷) EIN:129dB (A-特性負荷) CMRR @ 1k: >75dB 周波数特性 - 最小ゲイン ±0.5dB 10Hz to 40kHz XLR COMBI FEMALE: Pin 2 (Hot)、Pin 3 (Cold) & Pin 1 (シールド) 1/4"TRS ジャック:チップ (Hot)、リング (Cold)、スリーブ (シールド)

ライン出力 (DAC)

フルスケールレベル:12dBu = 0dBFS THD+N @ -1dBFS: 0.0006% ダイナミックレンジ:125.5dB (A-特性負荷) クロストーク:>120dB 周波数特性:±0.1dB 10Hz to 40kHz 1/4"TRS ジャック:チップ (L)、リング (R)、スリーブ (シールド)

USB-C ハイスピード

バスパワー: 最低位スペック: 0.9A @ 5V >=USB 3.0 Port 最高位スペック1.5A @ 5V 入力チャンネル数: 2 (2 アナログ) 出力チャンネル数:2 (2 アナログ) DSP ミキサーレイテンシー: 44.1kHz 0.65mS 48.0kHz 0.6mS 88.2kHz 0.33mS 96.0kHz 0.31mS

品質保証に関して

本機は、audient日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社が、購入後1年 以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店捺 印必須)を提示の上、ご購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合、保証内で あっても1年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」 等の諸権利を保有しています。弊社では内容を理解することを目的とする使用方法のみを 許諾しております。

▲警告:安全のため、特に注意していただくこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡 下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜い て下さい。

2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告:次のような場所での使用はできる限り避けて下さい。

●湿度の非常に高い場所

- ●砂やほこりが多い場所
- ●台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- ●空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くや温度が高い場所

■取り扱いについて乾いた柔らかい布のみを使用して、外装をきれいに保ちましょう。

■サービスについて このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合が考えられます。 必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になりま す。本体の取り扱いは慎重に行って下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責 任を負いません。

修理が必要な場合は、購入先もしくは弊社へ(メールのみの対応です。)ご連絡下さい。

Web:www.allaccess.co.jp Mail:audient@allaccess.co.jp サイズ







AUDIENT

audient 日本輸入総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社 WEB: www.allaccess.co.jp/audient/ E-mail: audient audient@allaccess.co.jp 〒490-1116 愛知県あま市本郷三反地21番地